

社会を選ぼう。政治と暮らしをつなぐ、笑顔の研究所

smile lab m's (スマイルラボ・エムズ)



社会は選べる。政治と暮らしをつなぐ、笑顔の研究所

smile lab m's (スマイルラボ・エムズ)



#Vision

ビジョン／目指す理想の姿

- ◎すべての人が自分には力があると信じ、尊厳を持ち主体的に生きられ、自己決定が尊重され応援される包容力ある社会
- ◎人生は選択の連続であり、一人ひとりの選択が社会をつくっていることを知っている、人生にも社会にも「自分事」として主体的に関われる市民

#Mission

ミッション／使命、存在意義

- ◎「母として、子どもに伝えたいことは何か。」という原点を土台に、「子育てのゴール」＝「子どもたちを社会の一員として送り出すこと」と定義し、自分らしさを肯定でき、自己決定する主体であると同時に他者尊重意識を育む。
- ◎社会を構成する一人としての当事者性に気付き、主権・自由・解放・選択できることの価値を知り、社会のしくみや、選挙や政治との関係についての自覚と知識を養う。

社会は選べる。政治と暮らしをつなぐ、笑顔の研究所

smile lab m's (スマイルラボ・エムズ)



#Action

アクション／事業展開

【大人の「公民」講座】

- ◎社会のしくみや選挙・政治が暮らしと地続きであることを実感できる学びの提供。
 - ・「成人＝大人」としての社会への船出を支え、予行演習となる、学校では教わらなかった学びの提供。
- ◎その人らしく幸せに生きられる民主主義国家における自由について理解できる学びの提供。
 - ・互いの権利を認め合い、尊重し合いながら社会を成り立たせるための「リバティ(自由)」という価値についての学びの提供。
現代版・リベラルアーツを目指して。
- ◎個人や家庭で解決できない問題は、「社会課題」と捉え、ルールメイクしていく政治のしごとについての学びの提供。
 - ・「窓枠」を上げると見える世界が広がる。日ごろ視野の及びにくい「社会課題」を知り、それらのことが、
自分の半径3mの日常とどうやって繋がっていて、自分にできることは何か。について考えるきっかけの提供。

【FUTURE DIARY～選挙の実践ノート～(選挙手帳)】【18歳成人を選挙手帳で祝おう♪PJ】

- ◎「政治」を取り巻く状況を耕す。
 - ・「当たり前」に投票に行く家庭で育ったお子さんが成人したときの投票率は高い」との総務省データもあり、
「投票へ行く」ことを家庭のステイタスとして定着させる。
 - ・「選挙」「政治」への誤解を解き、「有権者」であることの価値と「使いこなし方」についての学びの提供。

【コラム | この世を生きる処方箋～「公民」を改めて学ぶ～】

- ◎社会のしくみについて知識が増えることで、出来事の原因や流れがわかり、解決しやすくなる。
そのことを通してで困りごとや違和感が減り少しでも生きやすくなるのではないかと考えています。
- ・中学3年生の「公民」教科書ガイドブックのコンセプトで

社会は選べる。政治と暮らしをつなぐ、笑顔の研究所

smile lab m's (スマイルラボ・エムズ)



#Value

バリュー／行動基準、価値観

- ◎有権者と政治家の間のガラスの壁を取り払い、だれもが「立候補」や「政治家」を選択肢と意識できるデフォルト化。
 - ◎誰もがその人らしく生きることができる社会をつくる魅力的な役割としての「政治」。
 - ◎こどもたちの職業選択肢となり得る「政治」へのイメージ変革。
-
- ①「社会」を眺める自分の中の「窓枠」を広げ、「より広い世界を観たい」という動機を。
 - ②「選挙へ行かない人」に、「選挙へ行こう！」という期待感を。
 - ③「不便・不条理・不自由」を感じたら、「自己責任」にしまい込むのではなく「背景にある仕組みやステレオタイプ、社会課題を解決しよう」と思える思考を。
 - ④「投票へ行く」その先に、「立候補する」という選択肢を。
 - ⑤「立候補」を支えるバックオフィスとプラットフォームを。



【大人の「公民」講座】

○伝えている内容



- 選挙は多数決で決まるが、政治は、少数意見の尊重も重要。
 - ・政治家の勘違いとは。
 - ・支援者<有権者<市民 どこを見て政治をするか。選挙権を持たない市民の存在。
- 契約上による「保証」と納税による社会「保障」の違い。
 - ・支払い能力に関係なく市場経済に暮らしている。
 - ・支払い能力に応じた納税により、公平な社会保障で守られる社会に暮らしている。
- 一人を選ぶ選挙と多数を選ぶ選挙における「結果と一票の関係性」の違いと民意の反映。
 - ・ベストマッチな候補者に出会えない現実への誤解と、ベターでも選択するという本質。被選挙権の行使。
- 民主的選挙が行われなければ、どうやって決める？
 - ・じゃんけん？くじ？力尽く？独裁制との対比。
- 働いて得た収入のすべてが使える訳ではない。
 - ・おこづかい教育で使われる発想。「誰かのために使うお金／自分のために使うお金／未来のために貯めるお金」
 - ・ローンと積み立ての違い。市債と基金の違い。すぐに必要な住宅ローン(→市債)。将来のための学資保険(→基金)
- 個人的なことは、政治的なことである。
 - ・一人称で語る「困った」ことが、3人称で課題解決して「みんなの必要」を補える。
 - ある人の「欲しい(Wants)」は、一見我田引水に見えても、同じ立場の誰かを助ける「必要(Needs)」な政策となり得る。
- 社会はマジョリティ性を帯びて構成されている
 - ・居場所や立場によって、誰もがマジョリティ性とマイノリティ性を併せ持っている。他人の靴を履くことで見える世界。
- 自分のカードで生きていく。
 - ・配られたカードで勝負するトランプのように、自分らしさを構成する多様な要素を抱えたままで尊重され応援される社会。

社会は選べる。政治と暮らしをつなぐ、笑顔の研究所

smile lab m's (スマイルラボ・エムズ)

【大人の「公民」講座】ほか開催アーカイブ

(参考/<https://www.facebook.com/smilelabo.ms>)



●オトナの「公民」講座－第1期－

- ①2017/10/17
- ②2017/11/21
- ③2017/12/13
- ④2018/2/5
- ⑤2018/2/27
- ⑥2018/2/22
- ⑦2018/4/12
- ⑧2018/6/29
- ⑨2018/10/17
- ⑩2019/4/3 (市民団体さま)
- ⑪2019/4/11
- ⑫2019/11/7 (子育て広場さま)

●オトナの「公民」講座－第2期－

- ①2021/7/10 オンライン開催
- ②2021/7/18 オンライン開催
- ③2021/9/11 オンライン開催
- ④2021/10/17 オンライン開催
- ⑤2022/2/27 議員インターンシップ生対象オンライン開催DAY①
- ⑥2022/3/6 一般社団法人様にて DAY①
- ⑦2022/3/13 一般社団法人様にて DAY②
- ⑧2022/3/20 議員インターンシップ生対象オンライン開催DAY②
- ⑨2022/5/12 生活クラブ愛知様エリア企画内開催
- ⑩2022/8/22 オンライン開催
- ⑪2022/9/15 北海道苫小牧市男女平等参画推進センター様オンライン開催DAY①
- ⑫2022/9/29 北海道苫小牧市男女平等参画推進センター様オンライン開催DAY②

●講演等

- ①2016-2018 毎年1回 母校(愛知県立大学)でゲスト講師
- ②2019-現在 毎年1回 名古屋産業大学にて外部講師
- ③2019/10/31 企業様にて講演
- ④2022/1/19 犬山まちづくり自主学校プロジェクト 講演「元女性市議と考える“まちのつくり方”」
※内閣府男女共同参画局「地方議会・地方公共団体における政治分野に係る男女共同参画の推進に向けた優良取組事例集の作成について」で紹介されている事業です。
- ⑤2022/3/9 名古屋市立中学校 2年生 職業人授業
- ⑥2022/9/16 広島市内カフェ開催 政治BARにオンライン出演
- ⑦2022/9-2023/1 犬山まちづくり自主学校プロジェクト 5回連続企画にて講師兼アドバイザー





連載コラム【この世を生きる処方箋～「公民」を改めて学ぶ～】

【企画の背景】

●ママのこころと笑顔の応援団 特定非営利活動法人あっとわん / 「あっとわん通信」毎月第4金曜日に発行

- ・「あっとわん」さんは、＜自立する市民の場づくり＞を基本的な理念として活動されているNPO法人です。かわの ゆみこせんせいにご縁をいただいて2020年1月24日発行版よりコラムの連載が始まりました。
- ・タイトルは、[世の中で生きていくための処方箋 ～「公民」を改めて学ぶ～]
- ・中学3年生の教科書「新しい社会 公民」改めて手に取ってみて、素晴らしい教科書に、感動してしまいました。

【公民教科書】

●教科書の冒頭には、この様に書かれています。(抜粋要約)

『「公民」とは、「私(わたくし)」だけを中心にして社会を観たり考えたりする人ではなく、地域・日本・世界などの「公(おおやけ)」から広く社会を見つめ、社会的な問題を解決しながら、現在を生きる世代と将来を生きる世代の両方の幸福を実現する「持続可能な社会」づくりに参画できる人を意味します。』

【コラムのコンセプト】

●取扱説明書のイメージで書いていければと設定しました。

- ・社会のしくみをガッツリ知らなくても何となく知っているだけでも生きていけるのですが、知識が増えることで、出来事背景や流れがわかり、解決しやすくなることで困りごとや違和感が減り少しでも生きやすくなるのではないかと考えています。
- 機会があればぜひ手に取っていただき、共にお付き合いいただければ嬉しく思います。



社会は選べる。政治と暮らしをつなぐ、笑顔の研究所

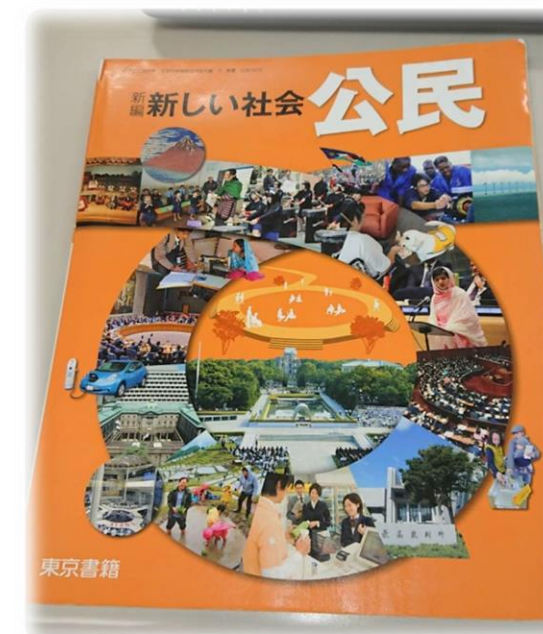
smile lab m's (スマイルラボ・エムズ)



連載コラム【この世を生きる処方箋～「公民」を改めて学ぶ～】

○全15回タイトル一覧

- ① 「公民」は、この世で生きる処方箋
- ② 「社会」ってなあに？集団で生きる「社会的存在」としてのスキルとは。
- ③ 「ちがい」のちがい。共生社会を育むためのスキル、人権と偏見・差別について
- ④ 「決めるチカラ」。子どもの「自立」と国民の「主権」について
- ⑤ 「自由権」と「公共の福祉」。自分の「〇〇したい」と家族の一員としてのガマン。
- ⑥ 民主政治と選挙。「政治」とは「課題を解決する」こと。
- ⑦ 権力の分立・国の政治のしくみ
- ⑧ 権力の分立 / 国と地方自治(「都道府県」と「市区町村」)それぞれの役割。
- ⑨ 立候補しよう！選ぼう！人生100回！／なぜ、選挙が必要なの？
- ⑩ 「消費」のしくみ。～「消費者」として、知っておきたいこと。～
- ⑪ 「働く」とは何か。～経営と利潤の配分、労働と雇用について～
- ⑫ 『消費』×『納税』ベストミックスでつくる社会。
- ⑬ 『ゆりかごから墓場まで』受け取る「福祉」を支える税「負担」のバランス
- ⑭ 広がる「私たちのコミュニティ」～未来の利益も考えて「今」を選ぶ暮らし方 ～
- ⑮ 『SDG's／持続可能な開発目標』～世界78億人アクションの一員として～



選挙手帳【 FUTURE DIARY ～選挙の実践ノート～ 】



◎手帳について

- 80年の人生だとすると、約100回参加できる「選挙」について、約10年15回分の記録を通して、選挙が暮らしにどれほど影響するのか確かめていける実践ノートです。
- 選挙の基礎知識、日本国憲法も全文掲載。
- 18歳選挙権を得る若者のための予備知識としても、子育て世代が子どもへ育む家庭教育にも、祖父母が歩んできた歴史を支える民主主義を次の世代に手渡すツールとしても、おススメの1冊です。

◎手帳の構成

①メッセージ&フリースペース

／子どもや孫へ送る一冊としてのメッセージや写真、自身の記録初めのコメントなどに活用できます。
(母子手帳同様。)

②選挙の基礎知識

／選挙の歴史(不平等選挙から平等選挙へ)・選挙の三原則・選挙権と被選挙権・投票と開票・投票機会・選挙の種類など ざっくり選挙について知ることができます。

③日本国憲法

／前文+本文をすべて掲載。これだけで1冊になる情報です。見渡す機会も少ないので、これを機にどうぞ。

④実践ダイアリー

／15回分の選挙記録をつけられます。約10年分です。
その時の近況や感想を記したり投票済証を貼付したりできます。

⑤未来への想い

／15回の記録・実践後の想いや状況を振り返り、整理したり記録したりすることに活用できます。